

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年8月31日

事業所名 サインポスト東員

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓を心がけ、怪我等の発生に気をつけている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法定の配置数を順守し、日々の利用人数に対応できる職員数を配置。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレや玄関スロープ等、各所バリアフリー化をしてある。利用者の特性に応じて絵カード等による情報伝達を行っている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々のミーティング等で情報共有し、目標設定や振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			開所1年目であり、今回が初めての自己評価公表となる。日々の保護者等との連携の中から、意向把握を心がけていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			開所1年目であり、今回が初めての自己評価公表となる。ホームページに公開。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		機会を見つけて、県や療育センター等主催の研修会に参加。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適宜、行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		放課後等デイサービスのソフトも利用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議や日々のミーティング等で行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		会議や日々のミーティング等で案を出し、実践している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		適宜、行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		適宜、行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティング等で確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々のミーティング等で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々行っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		適宜、行っている。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者を中心に参画。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		予定表の配布、送迎時の情報交換等	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/		受け入れる場合は連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて連携をとっている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/		現在までのところ、該当するケースが無いが、今後、必要に応じて対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言をいただいたり、研修へ参加。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後、検討して機会を見つけたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後、検討して機会を見つけたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日常的に行っている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		話し合いの場等も設定している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学时、契約時等に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適宜、行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時等に説明を行い、以降、適宜対応。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		日々の個人連絡帳やホームページ等では、活動概要等を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の施錠管理、PCのセキュリティ対策等	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ご本人に伝わりやすい方法を意識し、配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		「施設開放日」等の開催。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		災害訓練等を実施。一時避難所の周知等。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害訓練等を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の研修等への参加、日々のミーティングでの確認等	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		組織的な決定はしていないが、必要に応じて、保護者へは説明をしている。今後、組織的決定、計画への記載等を検討。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		書面等でも確認をし、対応。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		情報共有をしている。	